

項目		ご意見・ご質問	事務局・検討委員会の考え方等
1	(1) 小学校再編の考え方	① 小規模校にデメリットを感じていない。少人数の方が先生と子どもが密接に関わることができ、のびのびできる。 ② トラブルがあった場合、クラス替えが出来た方がいいと思っている子どももいる。 ③ 統合ではなく、対象の小学校を多くして通学区域を見直し、児童数の平準化を図るのはいかがでしょうか。 ④ 校舎や学校の名前が無くなってしまうのは寂しい。 ⑤ 吸収合併ではなく、新しい学校を作るという気持ちで取組を進めるべき。 ⑥ 最終的に統合するのは仕方ないと思っているが、統合にあたっての懸念事項を解消していくことが大事。 ⑦ 教職員負担と児童の教育機会を適正にするため学校の統合は必要。 ⑧ クラスが多い方が子どもの成長につながる。 ⑨ 小規模校から中学校に進学すると、人数の多さに子どもが負担に感じることもある。 ⑩ 小規模学校はアットホームで温かい素晴らしい学校。統合には反対。	○教育委員会では、学年が進む中でクラス替えを行ったり、子どもたちがお互いに切磋琢磨し、社会性や協調性を育むためには、1学年に複数学級があることが望ましいと考えています。 ○通学区域を見直して一時的に小規模校の児童数が増えたとしても、将来的には再び同じ検討が必要となります。 ○豊平地区の学校規模適正化のため、旭小と豊平小の統合を検討していきます。
	(2) 小学校再編の実施方法	① 旭小の場所は洪水浸水区域なので、防災の観点から見ると、統合先は豊平小でやむなしかと思う。 ② 跡地利用の観点から見ると、豊平小敷地の方が利用価値が高いため、統合先は旭小の方がいい。 ③ 校舎や地区会館の建て直しとは関係なく統合先を決めるべき。 ④ 旭小が閉校して避難所が無くなるのは困る。 ⑤ 統合には賛成。旭小の立地が1階床下程度の浸水地域に入っているため、統合先は立地についても考慮してほしい。	○校区内の児童全体の通学距離や、避難所としての立地を考慮し、統合校は豊平小敷地を活用することとします。
	(3) 複合施設について	① 学校の改築に合わせて、まちづくりセンターなどを複合化するのは必須なのか。 ② 複合化することで、学校関係者以外の人たちの出入りが多くなるのは防犯面から心配。 ③ 複合化するメリットはなにか。 ④ 複合施設の小学校・児童会館・地区会館・まちづくりセンターの入口は別にして欲しい。 ⑤ 小学校と児童会館が複合化し、様々な年齢の子供たちがいるのは交流環境として良いこと。 ⑥ 複合化するにあたり、今の機能・広さを維持する方向で考えてほしい。 ⑦ 地区会館や児童会館を複合化するならば車で来る人が多くなるので、駐車場は広くして欲しい。 ⑧ コミュニティ機能を重視し、利用しやすいよう、地区会館の多目的ホールを1階に配置してほしい。	○札幌市では、小学校の改築の際には、まちづくりセンターや児童会館等の複合化を検討する方針です。 ○学校に児童会館が併設されていることで、安心して児童会館に行けたり、まちづくりセンターや地域コミュニティ施設が併設されていることで、地域と学校の交流がしやすくなることが期待できます。 ○複合化した各施設の入口や管理は原則、分かれており、図書室など一部のスペースは共用を想定していますが、その場合でも共用スペース以外には入らないよう、区別して利用することになります。 ○学校及び複合化される施設の具体的な設計については、頂いたご意見も踏まえ、別途設置する「改築検討協議会」の場で検討することとなります。
2	通学区域について	① 統合により通学距離が長くなる児童が出てくるならば、中の島小など、他の周辺校に通うという選択肢も欲しい。	○中の島小に近い地区について、指定変更区域の設定を行うか、具体的にどの地域を対象とするかについては、頂いた意見を踏まえ、検討委員会で引き続き検討します。

項目		ご意見・ご質問	事務局・検討委員会の考え方等
3	通学安全について	① 北海学園大学敷地内を通学路に指定できないか。	○通学の安全について、頂いた意見を参考に、意見書提出後も引き続き北海道警察や道路部局などの関係機関と調整をしながら、引き続き検討していきます。
		② 北海学園の敷地内を多くの小学生が通る場合、通学の安全をどう確保するのが課題。	
		③ 北海学園敷地を通して通学する場合、児童が大学建物内で飲食するなどの問題が発生する可能性がある。	
		④ 北海学園敷地内で事故があった時の対応をどうするのか事前に検討しておく必要がある。	
		⑤ 通学の安全について、具体的にどう対策するのがわからないと保護者は納得できないし、安心して学校に通わせられない。	
		⑥ 横断歩道の設置や歩道の拡幅について、早いうちに関係機関と話をしておくべき。	
		⑦ 横断歩道の設置や道路の拡幅について、一朝一夕にはいかない。統合決定後、通学路がどうなるか決まった後に具体的な要望として始められたい。	
		⑧ 豊平小と比べて旭小校区は歩道が狭い道路が多い印象。低学年の子どもも歩くことを意識して検討する必要がある。	
		⑨ 狭い道路を通学路とするなら、工夫して安全確保する方向で考えてはどうか。	
		⑩ 横断歩道の設置が出来なかった場合、ソフト面で安全対策を充実させたらどうかと話が合ったが、人員を確保するのは難しい。	
		⑪ 豊陵公園の変形交差点について、新たな横断歩道の設置が難しいのはわかったが、この交差点はスピードが出ている車が多い。どうにか安全対策できないか今後も考えたい。	
		⑫ 豊陵公園の信号機を矢印式または歩車分離式にできないか。	
		⑬ 平岸通の横断箇所が少なく心配。	
		⑭ 統合後、通学距離が長くなる。特に冬は子どもの足では通学に長い時間がかかってしまうことが心配。	
4	(1) 両校の交流事業等について	① 統合前の子どもたち同士の交流も大切。統合決定を契機としてではなく、決定前の今から交流を始めた方が良いのではないか。 ② 事前の両校の交流は、より良い学校の基盤づくりにつながる。	○両校の交流事業は、新たな学校での教育環境を整える上で重要と考えており、意見書にもその旨記載したいと考えております。
	(3) 新しい学校づくりについて	① 統合するにあたっては、校名、校章、校歌を変更し、新しい一つの学校を一緒に作るという気持ちで進めたい。	○校名、校章、校歌の変更については検討委員会で引き続き協議いたします。 ○建物としての学校施設については、頂いた意見を基に関係機関とも協議しながら、意見書提出後に組織する「改築検討協議会」で具体的に検討することとなります。 ○新しい学校での教育内容等については、「開校準備協議会」等の協議体を設置しての検討を行います。
		② 安全確保の観点から、新しい学校はライフラインがしっかりした、避難所としての機能を向上させたものにするべき。	
		③ 冬季の避難を想定し、防寒対策を万全にすべき。1階を床暖房にして、フロア全てを避難所、2階以上を校舎とし、防災センター機能を持たせて備蓄品を保管できるようなモデル校としてはどうか。	
		④ 避難所機能などの機能は充実させるべきと思うが、グラウンドを狭くしてでもやることかということは、検討委員会内でもしっかり議論すべき。	
		⑤ 避難所機能を拡充すべきで、校舎規模も児童基準ではなく、避難者を想定したものにして欲しい。	
		⑥ 新しい学校はデジタル化の授業など特色のある教育にしたい。	
	(4) 旭小学校の跡地活用について	① 洪水災害に対応できるように1階を吹き抜けにした避難所施設が欲しい。	○跡地の活用については、頂いた意見を基に関係機関とも協議しながら、意見書提出後に具体的に検討することになります。
		② 避難所を兼ねた資料館（市有施設）を造ってほしい。	
		③ 旭小敷地内にある水車や記念碑などを残してほしい。	
		④ 水害以外の災害時の避難所として地域の拠り所になっている旭小学校在廃校になるならば、代替措置として、水車町地区の高台に避難所を設置することはできないか。	